# 出演者プロフィール



トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン

ウィーン国立歌劇場の協力を得て、本公演のために特別に編成された世界最高水準の室内オーケストラ。 ウィーン国立歌劇場、ウィーン・フィルのメンバーを中心に、ヨーロッパで活躍するアーティスト仲間たちも加わった 30 名で編成されている。 [芸術監督:フォルクハルト・シュトイデ]

#### ■芸術監督・コンサートマスター



フォルクハルト・シュトイデ Folkhard Steude 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター〉 1971 年ライプツィヒに生まれ、5 歳よりヴァイオリンを始める。88 年ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入学、ヨアヒム・ショルツ、ヴェルナー・ショルツ両教授に師事。大学在学中、エスタ国際ヴァイオリン・コンクール第 4 位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞を受賞する他、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第 1 コンサートマスターを務める等、オーケストラ奏者としても活躍。94 年同大学卒業と同時にウィーンに留学、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者であるアルフレド・スター教授に師事。同年コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99 年よりコンサートマスターを務めている。2002 年には自らが主宰するシュトイデ弦楽四重奏団を結成する等、ソロや室内楽の多方面で活躍している。

## ■ソリスト



小菅 優 Yu Kosuge 〈ピアノ〉

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤等の指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響等と共演。10年ザルツブルク音楽祭でポゴレリッチの代役としてヘレヴェッへ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。13年2月服部譲二指揮ウィーン室内管と共演、同年12月ロンドン ウィグモア・ホールでリサイタル。2010年から15年にはベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を東京、大阪で行い各方面から絶賛を博した。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含むベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。第13回新日鉄音楽賞、04年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオークラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。14年第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、17年第48回サントリー音楽賞受賞。16年秋、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集完結記念ボックスセットをリリース。2017年秋より、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにした新リサイタル・シリーズ『Four Elements』に取り組んでいる。



エルヴィン・クランバウアー Erwin Klambauer 〈ウィーン交響楽団ソロ・フルート〉

9 歳よりリンツのブルックナー音楽院(現ブルックナー大学)にてフルートとピアノを始め、その後ウィーン国立音楽大学にて W.シュルツ氏に師事、1991 年最優秀の成績で卒業。学生時代よりグスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、EU ユースオーケストラ、カメラータ・ザルツブルク等の首席奏者を歴任し、92 年オーストリア連邦劇場管弦楽団に入団。93 年ウィーン放送交響楽団のソロ・フルート奏者に就任し、数多くのテレビ、ラジオの収録や CD の録音を積極的に行っている。ソリストとしてヨーロッパ及びアメリカ、ロシア、中国、日本、韓国等世界各地で演奏活動を行う他、室内楽奏者としても活躍し、アンサンブル・コントラプンクト、ウィーン放送交響楽団木管五重奏団等のメンバーを務める。また世界各地でワークショップやマスタークラスを開催しており、ウィーン国立芸術大学やウィーン音楽院で教鞭を執る。2008 年 10 月グラーツ音楽大学教授に就任、現在ウィーン交響楽団ソロ・フルート奏者を務める。



ベルンハルト・ハインリヒス Bernhard Heinrichs 〈チューリッヒ歌劇場管弦楽団ソロ・オーボエ〉

1963 年バンベルク(ドイツ)に生まれる。ミュンヘン音楽大学にて G.パッシン教授に師事。アーキス五重奏団のメンバーとして、ボンで開催したドイツ音楽コンクールを始め、ベオグラード(セルビア)、コルマール(フランス)等で開催された音楽コンクールにて受賞。91 年チューリッヒ歌劇場管弦楽団のソロ・オーボエ奏者に就任。N.アーノンクール、F.ウェルザー=メスト、C.アバド、R.シャイー、C.v.ドホナーニ、B.ハイティンク等の著名な指揮者と共演する他、ザルツブルク音楽祭やシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、PMF 等の世界各地の音楽祭に招かれ、S.マイヤー(クラリネット)、C.テツラフ(ヴァイオリン)、G.オピッツ(ピアノ)、C.エッシェンバッハ(ピアノ)、L.O.アンスネス(ピアノ)等一流音楽家と共演し、室内楽奏者として活躍している。また、画家としてのキャリアも持ち、チューリッヒ、オスロ、マイアミ、ミュンヘン、ウィーン、ストックホルム等で絵画が展示されている。

## ■メンバー [ヴァイオリン]



ミラン・セテナ Milan Šetena 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

プラハに生まれる。1988年プラハ音楽院を卒業後、ウィーンにて A.スター教授に師事。90年ウィーン国立歌劇場管弦楽団およびウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。室内楽奏者として、ザルツブルクをはじめとする音楽祭に出演し、世界各地で演奏活動を行う。また、ウィーン・ストリング・ソロイスツのメンバー、シュルホフ弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を務めている。



フョードル・ルディン Fedor Rudin 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター〉

1992年モスクワに生まれ、パリで育つ。ケルン、ザルツブルク、ウィーンで学び、パガニーニ国際コンクールにて優勝。ニューヨーク、ベルリン、パリ、ウィーン、チューリッヒ等で国際的ソリスト、室内楽奏者として活躍する他、管弦楽やオペラの客演指揮者としても活動している。使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金より貸与されたロレンツォ・ストリオーニ(クレモナ 1779 年製)。



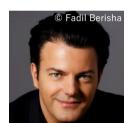
マリアン・ガスパー Marián Gašpar 〈元カメラータ・ザルツブルク コンサートマスター〉

1970 年ブラティスラヴァ(スロヴァキア)に生まれる。89 年よりウィーン国立芸術大学にて G.ヘッツェル、R.キュッヒル、A.スターの各教授に師事。ウィーン・カンマーフィルハーモニー、ウィーン・カンマー・オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクのコンサートマスター、またカペラ・イストロポリターナ、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、スピリット・オブ・ヨーロッパ管弦楽団のゲスト・コンサートマスターを歴任。



アルヴァロ・パラ Álvaro Parra 〈ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1977 年コンセプシオン(チリ)に生まれる。96 年よりベルリンのハンス・アイスラー音楽大学にて S.ピカードと M.ミュッケの両教授 に師事し、2002 年ベルリン・フィルのカラヤン・アカデミーへ入学。05 年チリ・カトリック大学のヴァイオリン教授に就任。08 年再びベルリンへ戻り、コンツェルトハウス管弦楽団第 1 ヴァイオリン奏者を経て、13 年第 1 ヴァイオリン奏者としてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



シュケルツェン・ドリ Shkelzen Doli 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

アルバニアに生まれる。セルビアのノヴィ・サド音楽学校を経てウィーン芸術大学を卒業。17歳でユーゴスラヴィア青少年音楽コンクールに優勝し、ソリストや室内楽奏者としてヨーロッパ、北米、アフリカ、イスラエル、日本等の各地で演奏。2006年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団する他、ウィーン・ヴィルトゥオーゼン、アンサンブル・ウィーン・カレッジ、ザ・フィルハーモニックス等のメンバーを務めている。



アンドレアス・ノイフェルド Andreas Neufeld 〈ベルリン放送交響楽団〉

1976 年クラスノダル(ロシア)に生まれる。2000 年ハイデルベルク-マンハイム音楽大学卒業。EU ユース・オーケストラ、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ドイツ・オペラ・ベルリン、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ベルリン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団等に出演。98~09 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第 1 ヴァイオリン奏者を務め、12 年よりベルリン放送交響楽団第 1 ヴァイオリン・フォアシュピーラーを務めている。



ミヒャール・マチャシチック Michał Maciaszczyk 〈ウィーン国立歌劇場管弦楽団客演奏者〉

8 歳から音楽教育を受ける。ポズナン音楽大学卒業。M.ヤシュヴィリ、Z.ブロン、M.シュヴァルベ、A.スターの各教授に師事。ソリスト、室内楽奏者としての活動の他、ラジオ、テレビへの出演、CD レコーディング等にも参加している。2012 年ヴォヤヌフ芸術祭音楽監督を務める。現在、ウィーン国立歌劇場管弦楽団の客演奏者として活躍する他、世界各地で演奏活動を行っている。



オレアダ・シュトイデ Oreada Steude 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1973年ティラナ(アルバニア)に生まれる。グラーツ音楽大学を最優秀の成績で卒業。94年ゴリツィア国際コンクール優勝。グラーツ交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ウィーン・カンマーフィルハーモニーを経て、2001年よりウィーン国立歌劇場の舞台管弦楽団メンバーを務める。同劇場の公演およびウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の公演にも定期的に出演している。





エルマー・ランダラー Elmar Landerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1974 年ザルツブルクに生まれる。90 年グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団および EU ユース・オーケストラに入団。96 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、99 年よりウィーン・フィルハーモニア・トリオ、ベルヴェデーレ・トリオ、2000 年よりウィーン・ヴィルトゥオーゼン、02 年よりシュトイデ弦楽四重奏団等のメンバーを務めている。



ペーター・サガイシェック Peter Sagaischek 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1965 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて R.キュッヒル、A.スターの両教授に師事。90 年ヴィオラ奏者としてウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団。93 年より同楽団のソロ・ヴィオラ奏者を務める。室内楽奏者として、これまでフィルハーモニー弦楽四重奏団、グスタフ・マーラー四重奏団、トリプルス・ウィーンのメンバーを務める他、ソリストとしても活躍している。



ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart 〈ウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1968年オイラツフェルド(オーストリア)に生まれる。ブルックナー音楽院をヴァイオリンで卒業後、ウィーン国立芸術大学に進学し、ヴィオラに転向。アンサンブル・アクトゥエル、エオス弦楽四重奏団等のメンバーとして、ウィーン・コンツェルトハウスのコンサートシリーズに長年出演する他、ヨーロッパの著名な音楽祭に招かれている。93年よりウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者を務めている。

[チェロ]



ロベルト・ノージュ Robert Nagy 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・チェロ〉

1966年ハンガリーに生まれる。フランツ・リスト音楽院を経て、ウィーン国立芸術大学を卒業。グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団のソロ・チェロ奏者を歴任し、92年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、96年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、2005年よりソロ・チェロ奏者に就任。また、09年よりウィーン国立芸術大学教授を務めている。



エディソン・パシュコ Edison Pashko 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1973年コルカ(アルバニア)に生まれる。93年グラーツ音楽大学に入学。リーゼン国際チェロ・コンクール第2位受賞。2010年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、現代音楽の分野でも精力的に活動し、ウィーン放送交響楽団、アンサンブル・ディ・ライへ、アンサンブル・ウィーン・カレッジの現代音楽コンサートに出演している。



エリック・ウメンホッファー Erik Umenhoffer 〈ウィーン交響楽団第2ソロ・チェロ〉

1989 年バヤ(ハンガリー)に生まれる。8 歳よりチェロを始め、ヤーノシュ・シュタルケル・コンクール第 1 位受賞等、数多くのコンクールに入賞する。2008 年ブダペスト音楽大学に入学し、10 年より R.ナジ教授のもとで研鑽を積む。ウィーン・コンツェルト・フェライン、ウィーン交響楽団等のメンバーを務める他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の補助団員としても活躍。現在、ウィーン交響楽団第 2 ソロ・チェロ奏者。

「コントラバス〕



ョゼフ・ニーダーハマー Josef Niederhammer 〈ソリスト/ウィーン国立音楽大学教授〉

1977年ウィーン国立音楽大学卒業。ウィーン交響楽団、バンベルク交響楽団、バイエルン州立管弦楽団を経て、86~91年ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コントラバス奏者を務める。ミュンヘン音楽院、ミュンヘン国立音楽大学等の教授を歴任する他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の客演奏者や、室内楽奏者としても活躍している。現在、ウィーン国立音楽大学教授を務めている。



ミヒャエル・ブラーデラー Michael Bladerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1968 年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)に生まれる。ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。ウィーン交響楽団、ベルリン・コーミッシェ・オーパー等を経て、99 年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、2002 年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また PMF や南カリフォルニア大学、ニューイングランド音楽院等でマスタークラスを開催。ウィーン八重奏団等のメンバーを務めている。

[フルート]



マティアス・シュルツ-アイグナー Matthias Schulz-Eigner 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1972 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて父の W.シュルツ氏に学び、最優秀の成績で卒業。ソリストとして、これまでウィーン室内管弦楽団、ブルックナー管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、中部ドイツ放送交響楽団等と協演し、各地の音楽祭に出演。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団等に出演している。

[オーボエ]



ヘルベルト・マデルターナー Herbert Maderthaner 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1981 年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)の音楽一家に生まれる。7歳より兄の元でクラリネットを始める。その後オーボエの音色に魅了され、96年に転向し、2000年ウィーン市立音楽院に合格。05年よりウィーン放送交響楽団の第2オーボエ及びコールアングレ奏者を5年間務めたのち、10年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、13年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、室内楽奏者としても活躍している。

[クラリネット]



ゲラルド・パッヒンガー Gerald Pachinger 〈ウィーン交響楽団ソロ・クラリネット〉

1967 年リード(オーストリア)に生まれる。84 年にウィーン芸術大学に入学、P.シュミードル教授に師事。87 年に首席奏者としてウィーン交響楽団に入団。これまでソリストとして数々の著名指揮者、またウィーン交響楽団、ウィーン室内管弦楽団等と協演。客演奏者としても定期的にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等に招かれる。ウィーン木管アンサンブル、ウィーン五重奏団、ウィーン室内合奏団等のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している



ペーター・ロイットナー Peter Leuthner 〈ウィーン国立歌劇場管弦楽団客演奏者〉

ウィーン国立音楽大学にて P.シュミードル教授に師事し、1990 年卒業。A.プリンツ、K.ライスター両教授のマスタークラスを受ける。 その後、4年間にわたってオーストリア国立歌劇場管弦楽団のメンバーを務めると同時に、客演奏者としてウィーン国立歌劇場管弦楽団、 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で演奏。97年ウィーン・フィルのメンバー達と共に CD レコーディングを行っている。

#### [ファゴット]



リヒャルト・ガラー Richard Galler 〈ウィーン交響楽団ソロ・ファゴット〉

1967年グラーツ(オーストリア)に生まれる。ザルツブルク・モーツァルテウム大学にて M.トゥルコヴィッチ氏に師事。パブロ・カザルス音楽祭、浜松国際管楽器アカデミー、PMF 等世界各地の音楽祭に出演。87年ウィーン交響楽団の首席ファゴット奏者に就任。2004年より M.トゥルコヴィッチの後任としてウィーン国立芸術大学教授を務める。ウィーン室内アンサンブル、ウィーン=ベルリン木管五重奏団のメンバーとしても活躍している。



ビアンカ・シュースター Bianca Schuster 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団〉

1973 年フォアアールベルク(オーストリア)に生まれる。93 年にウィーン芸術大学に入学、M.トゥルコヴィッチ、S.トゥルノフスキーの両教授に師事。2012 年よりウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団第1ファゴット奏者を務める。また、客演奏者としてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場などに招かれる他、ウィーン室内管弦楽団等のメンバーを務める。グスタフ・マーラー私立音楽大学教授。

[ホルン]



ロナルド·ヤネツィック Ronald Janezic 〈ウィーン·フィルハーモニー管弦楽団首席〉

1968年ノインキルヘン(オーストリア)に生まれる。父親は元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のホルン奏者。6歳よりヴァイオリンを始める。ウィーン音楽大学に入学後、83年ホルンに転向。90年第1ホルン奏者として、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。92年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ホルン奏者を務める。また、ソリストとして、同楽団と協演した CD もリリースされている。



ヤン・ヤンコヴィッチ Jan Janković 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1984 年ザグレブの音楽一家に生まれる。96 年ウィーン市立音楽大学に入学、F.ガブラー、W.ヤネツィックの両氏に師事。2003 年最優秀の成績で卒業後、ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団やザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団を経て、08 年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、11 年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンやウィーン木管八重奏団等のメンバーを務めている。

[トランペット]



ステファン・ハイメル Stefan Haimel 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1982 年クラーゲンフルト(オーストリア)に生まれる。小学生の頃より父の F.ハイメル氏にトランペットを学ぶ。ウィーン国立芸術大学にて J.ポンベルガー氏に師事、2002 年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍。04 にウィーン国立歌劇場管弦楽団、07 年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



ゲルハルト・ベルンドル Gerhard Berndl 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1981年シュタイヤー(オーストリア)に生まれる。10歳よりアッシュバッハ音楽学校にてトランペットを始める。ウィーン国立芸術大学にてJ.ポンベルガー氏に師事し、2008年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍、03年9月よりウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団へ入団。

[ティンパニ]



ミヒャエル・ヴラダー Michael Vladar 〈ウィーン交響楽団ソロ・ティンパニ〉

1962 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて H.ベルガー教授に師事。84 年よりザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのティンパニ奏者を歴任し、90 年ウィーン交響楽団のソロ・ティンパニ奏者となる。またウィーン・ヴィルトゥオーゼン、ウィーン・コンチェントゥス・ムジクス等のメンバーとしても活躍している。